

経営比較分析表（平成29年度決算）

神奈川県相模原市 橋本駅北口第2自動車駐車場

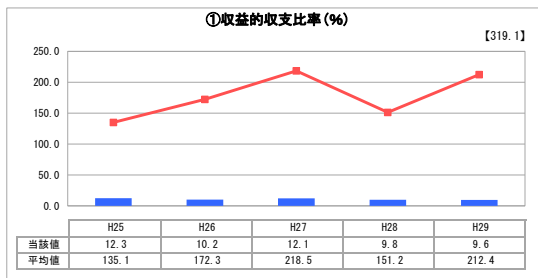
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	立体式	17	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
商業施設	無	13,925
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
455	300	代行制

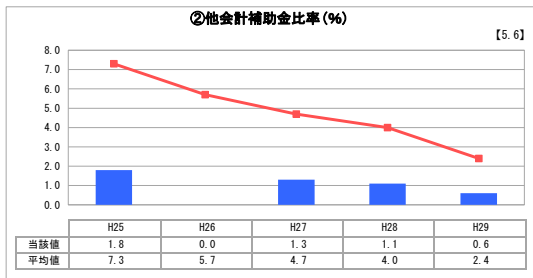
グラフ凡例

- 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)
- 【】 平成29年度全国平均

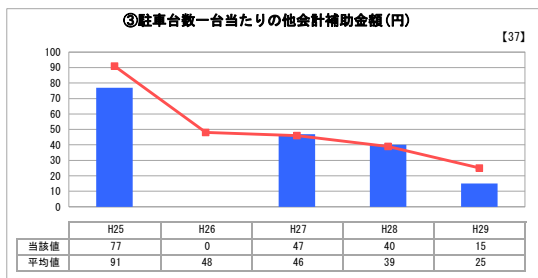
1. 収益等の状況



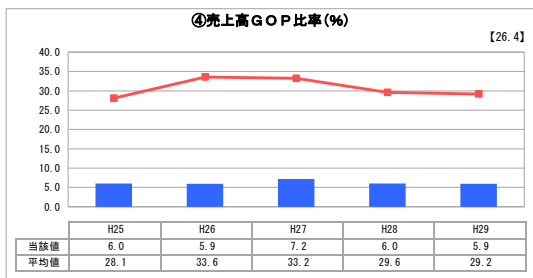
「経常損益」



「他会計補助金割合」

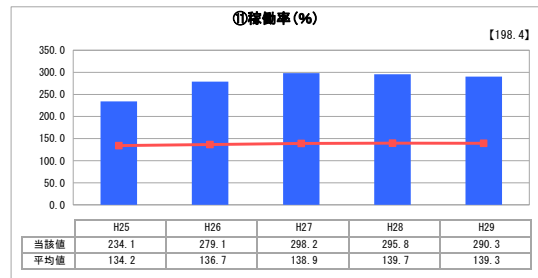


「他会計補助金額」

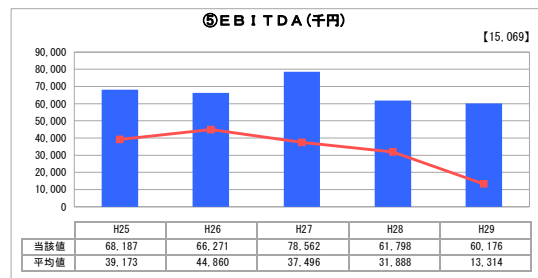


「売上高に対する営業総利益」

3. 利用の状況



「施設の効率性」



「減価償却前営業利益」

2. 資産等の状況



「施設全体の減価償却の状況」

⑦敷地の地価(千円)

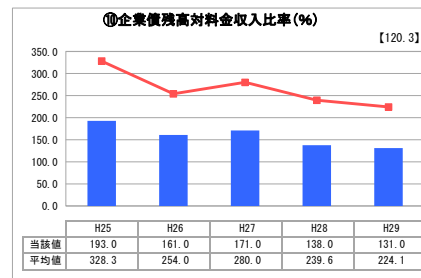
-

⑨設備投資見込額(千円)

-



「累積欠損」



「債務残高」

分析欄

1. 収益等の状況について

本駐車場は、通行量が多い地区で円滑な道路交通を確保するため、平成13年より供用開始しました。駐車場の料金収入等で支出をどの程度賅えているかを示す収益的収支比率(%)は徐々に下がってきており、平成28年度も100%を切っているため、全体的に赤字となっておりますが、これは駐車場建設費の償還を行っているのが大きな要因となっています。橋本駅北口第2自動車駐車場の他会計補助金比率、駐車台数一台当たりの他会計補助金額は、償還金の返済方法に元均等を採用しているため返済金額が一定であること、また、隣接する商業施設のリニューアルがあり、かつ相模大野駅西側自動車駐車場がオープンしたばかりであった平成26年度には収入が増えたため減少してはいますが、その後は利用者も落ち着いたため0以上となっております。平成35年度の償還完了に合わせて0となります。

2. 資産等の状況について

企業債残高対料金収入比率は徐々に減少しているものの全国平均と比較すると高い数値となっております。これは駐車場建設費の償還が残っているため、平成44年度には全駐車場の償還が完了します。

3. 利用の状況について

平均値よりも高く、平成26～27年度に増加した後はほぼ横ばいで推移しています。これは隣接商業施設の大きなリニューアルがあったため、その後は利用者も落ち着いています。

全体総括

駐車場自体が集客能力が低いことに加え、環境面への配慮、駅前の交通渋滞の緩和、人口の減少等の要因から車離れの傾向がある現在では収益の増加は難しい状況です。駐車場法に基づき、一定の割合は市が維持していきますが、利用状況や周辺の民間駐車場の配置状況等を踏まえ、サービス継続の必要性が低い施設については、更新しない方向で検討をしていきます。